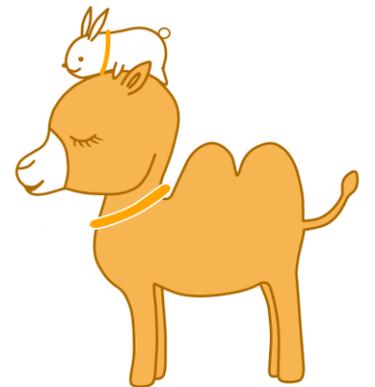


本人の声をもとに  
本人とともに  
本人のやりたい暮らしを実現する

鳥取市中央包括支援センター  
認知症地域支援推進員  
金谷佳寿子



# 本当はみんな本人の声を聴いている

鳥取県では本人ミーティングを開催しているが、  
「話せる本人はどうやって集めるのか」  
「うちの市には、話せる本人がいない」と質問される事が多い。

「こんな鳥取市にしたい。こんな施策を創ってほしい」と  
話す本人は、鳥取市にもなかなかいない。  
でも、私たちは沢山の本人の声を聴いている。  
「山に登りたいな」「美容院に行きたいな」・・・等

# Aさんの声 「デイサービスに行きたくない」

- 認知症カフェに参加していた60歳のAさん 男性

奥さんからの相談

「仕事も出来なくなり、毎日パチンコばかり。最近は家計を圧迫しているが、理解してもらえない。デイサービスを利用するようになったが本人が行きたがらない。どうしたらいいか？」

Aさんにどうしてデイサービスに行きたくないか聞いてみた。

「高齢者ばかりで・・・最初は話し相手になってあげるのもいいかなと思ったけれど、楽しくない。何がしたいかって聞かれたら、やっぱり野球がしたいな。キャッチボールじゃなくて、野球。」

# 「どうやったら野球が出来るか」を考える



一緒に野球しませんか？

「デイサービスのレクでキャッチボールなら出来るかも」

「野球なんて出来るの？怪我したらどうするのか。」

「ソフトボールでいいんじゃないか。ボードゲームもある。」

**「楽しそう。うちのチームと試合をしよう！」**

# 試合までの準備

私・・・せっせと仲間集め、救急箱と水分補給の準備。  
SCさんと打ち合わせ  
Aさんに日程を伝え、楽しみにしといてねーと言う

SC・・・球場の手配、当日のグラウンド整備等

※SC：活支援コーディネーター

# 試合の準備 ⇒ 試合当日

Aさん「とても楽しかった！今度はもっと足腰を鍛えておきたい。

**もっと練習もしないと走れない・・・。」**

妻「**グローブの手入れをして楽しそうに準備していた**けれど

本当は心配だった。でもかっこよかった！」

参加者「楽しかった。Aさんの試合時の

集中力はすごいな！

定期的に開催出来たらいいよね。

他の人も誘いたい。」



# 振り返り



準備をしたのはほとんど支援者・・・  
⇒Aさんと一緒にすればよかった  
⇒Aさんは誰と野球したかったのか



誰とやりたい？  
どんなチラシで呼びかける？  
どこにチラシを配布する？  
どこで練習する？

# 次へのアクション！「後任へ引継ぎ」

Aさんの思いを聴いて、一緒に企画してほしいとお願いした！

- ・ 試合の日程について ⇒ ケアマネジャーに相談しよう
- ・ 誰と野球をしたいか ⇒ 野球好きの人と楽しみたい
- ・ 練習場所 ⇒ 歩いて行ける近くの空き地がいいな
- ・ メンバーの募集について ⇒ チラシを一緒に作ろう！



鳥取市おれんじ野球部  
 ☆グローブあればご持参くださいね。  
 ☆もちろん応援だけでもオッケー！  
 ☆道具ない方ご相談下さい！

2022  
 11/12(土)  
 13:00～14:00  
 (試合は13:15頃～)

場所：千代河原市民  
 スポーツ広場野球場  
 鳥取市古市

# 野球

やろうよ

狙え内野安打！  
 目指せホームラン



予告先発投手  
 小谷洋さん



ご不明な点や当日の問い合わせは  
 推進員 小川まで090-7995-2697  
 (雨天時は中止です)



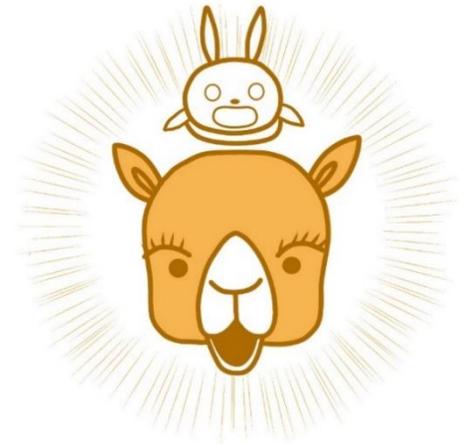
認知症カフェでお世話になっている  
 人権センターに相談  
 「空いている時は声を掛けてもらったら、自由に使っていていいよ。**僕も野球が好きだから、仲間に入れて！」**

更に・・・  
**センター内で行っているサロンやサークルにも参加してみませんか？**  
**地域食堂もしているから、いつでも遊びに来て下さい**



# 気付き

- 支援者が中心となって野球の試合が出来るようにセッティングしてはダメ。野球をする事だけが目的で、他が見えなくなってしまう。
- 「野球がしたい」を本人と一緒に実現していく中で野球をする以外の効果があった。
  - ⇒ 野球を通して仲間が増えた！
  - ⇒ 人権センターのカラオケ会にも参加するようになった
- Aさんが変わり始めた
  - 「野球が出来ることはもちろんだけど、仲間が増えてうれしい」パチンコに行くことも減った。



# 本人の声を聴く

身近な本人と話して、やりたいことにチャレンジする。

Aさんと一緒に動きながら、野球をすることがゴールじゃないことに気が付いた。

やりたいことは周囲の人の理解によって、変化する。

Aさんは鳥取市を変えたいと言わなかったけれど、野球を通して周囲の人と関係を構築しながら、地域住民の理解を深め、

馴染みの地域で暮らしやすい環境を自分で作った。

ケアプランにも「仲間と趣味活動をする」が加わった。



私：認知症本人大使「希望大使」になってくれると嬉しいな。

Aさん：いいよ。

本人の小さなつぶやきを大切に、  
本人とともに小さな夢を一緒に叶えた「**GOOD STORY**」。  
その積み重ねが、「より良いくらし」へ  
つながっていくのではないかと思います。

これからも、「**GOOD STORY**」を  
一緒に創っていきたいなと思います。



「こんな僕でもやりたいことが出来た。  
みんなもやりたいことをやろう！」



ご清聴ありがとうございました